

早明浦病院 介護老人保健施設レイクビューさめうら

vol.55 平成30年 冬号

医療法人 十全会

発行：医療法人十全会広報委員会

所在地：高知県土佐郡土佐町田井1372

電話：0887-82-0456 (代表) FAX：0887-82-0459

ホームページ <http://juzen-kai.or.jp/>

湖畔

新春のごあいさつ

医療法人十全会理事長・早明浦病院院長 古賀 眞紀子

新年明けましておめでとうございます

平成30年の年頭に当たり新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、医療法人十全会に對しまして格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。



は臨機に対応していかなくてはなりません。とりわけ、報酬の改定、療養病床の削減等は、当院にとりましても、喫緊の課題であり、慎重かつ適切に対応してまいります。

これから医療法人十全会は、法人の持てる組織機能を全開して、地域の皆様はもとより、医療機関、介護施設等の皆様方と連携協調し、「地域になくはない病院」、「地域の皆様から選んでもらえる病院」を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。

さて、医療を取り巻く環境は、以前にも増して厳しくなってきました。少子高齢化が進展するなかで、医療・介護制度も大きな転換期を迎えています。一昨年の12月には、県から平成37年（2025年）の医療需要を踏まえ、目指すべき医療提供体制やそのために必要な施策を盛り込んだ「地域医療構想」が発表されました。ちなみに療養病床など、慢性期の病床については、県全体で約2,600床も過剰と報告されています。

本年は、この地域医療構想の推進のほか、様々な制度改革が予定されています。

診療報酬と介護報酬の同時改定、病床機能の更なる分化、医療と介護の連携などが進められ、第7次医療計画及び第7期介護保険事業（支援）計画の策定が同時に行われます。更には、国民健康保険の運営主体が市町村から県に移行されるなど、本年は、医療・介護制度改革の大きな節目の年となります。もちろん、こうした国や県などの制度改革に

このほど、当院では、生まれも育ちも地元、土佐町の吉田隆一郎先生を新たに副院長に迎えしました。吉田先生は、長崎大学医学部を卒業後、大学の関連病院の勤務を経て、高知市の毛山病院で勤務されるなど、豊富な経験をお持ちです。専門の外科のほか、

本年も地域の皆様の変わらぬご指導・鞭撻のほど、お願い申し上げます。



内科全般の診療も担当します。なお、診療体制については、引き続き医師の招聘など、充実に向けて取り組んでまいります。



レイクビューさめつり年末行事



12月13日(水) レイクビューさめつりでは今年も入所・通所合同で忘年会を行いました。先ず、最初は劇「寅さん」を各部署職員参加で行いました。職員がそれぞれ猿・鶏・犬に扮しておしゃべりしている中へ寅さんになった職員が入ってきて、歌や手品を披露しました。

続いて入所職員による二人羽織、通



所はイントロクイズをし

ました。これは初めての試みでしたが、利用者の皆様は真剣に取り組んでくださり盛り上がりました。驚くような早さで正解される方、分かっているけど、答えるのが恥ずかしい方などいろいろありました。楽しく、そしてちょっと緊張感があつたようです。最後に「南国土佐を後にして」を全員で歌って終了しました。

クリスマス会

12月22日(金) ひと足早いクリスマス会を行いました。

おやつは栄養科特製のレアチーズケーキです。レアチーズ

ケーキは初めての方もいらっしやいました

が、「おいしい!!」との感想をいただきました。

引き続き入所職員による二人羽織、通



祝 旭日単光賞受章

12月4日(月) 4階療養病棟に入所中の岡林光春様(88)が、平成29年度高齢者叙勲にて旭日単光賞の榮譽に輝き、早明浦病院で和田町長から勲章と勲記を伝達されました。岡林様は土佐町議会議員を務めてこられ、この程、長年の地方自治における功績が認められました。



ハーモニカの音色に感動



10月27日(金) 愛媛県西条市から四国ハーモニカ連盟の皆様8名の方々が訪問し約1時間にわたり演奏してくださいました。この訪問は平成22年に次いで2回目です。職員一同この日を心待ちにしていました。

唱歌「里の秋」「靴が鳴る」、歌謡曲「365歩のマーチ」「銀座の恋の物語」「星影のワルツ」

など利用者の皆様に御馴染みの曲が美しい音色で次々に流れ会場は感動に包まれました。



切り干し大根の煮物

<作り方>

1. 切り干し大根は水に約10分漬け、2～3回水をかえてもみ洗いし4～5センチの長さに切る。
2. 鶏肉はさいの目切り、油揚げは熱湯で油抜きし横2つに切って開く。かんぴょうは塩でもみ洗いし、ひと煮たちさせてゆで、湯をきる。
3. 煮汁Aで切り干し大根、鶏肉を煮る。
4. 油揚げに3で作った汁気を絞った具を入れかんぴょうで結び、煮汁Bで煮含める。【栄養科】

地産地消 レシピ

<材料 4人分>

切り干し大根 …… 40g
鶏肉 …… 150g
油揚げ …… 4枚
かんぴょう …… 適宜

<煮汁A>

だし汁 …… 2/3 ｶｯﾌﾟ
しょうゆ …… 大2
酒・砂糖 …… 各大1

<煮汁B>

だし汁 …… 2 ｶｯﾌﾟ
しょうゆ …… 大2
酒・砂糖 …… 各大1

渡橋教授講演会開催



10月14日(土) 早明浦
病院1階ロビーで高知
大学医学部外科学(外
科) 講座教授の渡橋和政先生による講演会を開催しました。テーマを「心臓血管の病気とよくある誤解」と題し、ちまたにあふれる『誤解』についてユーモラスを交えて非常に分かりやすく解説していただきました。

渡橋教授は月に1回のペースで早明浦病院で外来診療を行っています。専門は心臓血管外科となっておりますので、胸部に不安な症状がある方などは特に受診をお勧めします。

音楽療法講演会開催



11月18日(土) 早明浦
病院1階ロビーで音楽
療法士の鈴木琴栄先生
による講演会「音楽療法について」入門編を開催しました。土佐町在住の鈴木先生は国内外を問わず音楽療法に携わっておられ、現在、早明浦病院でも小児リハビリの臨床を行っています。実際の治療映像や楽器を使用した実演など分かりやすく紹介していただき、これからの治療法として注目の音楽療法について聴講しようと、高知市などから専門職の方々のご参加もありました。

このように腰痛を起しやすい人には、姿勢の異常や体幹・下肢の筋肉のバランス不良が多く見られやすいです。腰痛になりやすい人の特徴として①腰椎の前彎(腰のそり)が強くなっている。②腹筋や背筋の筋力低下がある。③背筋や下肢の筋肉の柔軟性が低下している。④腰を伸ばす筋の筋力が低下し、腰曲り傾向にある。等があげられます。【リハビリテーション科】

リハビリテーションワンポイント講座

腰痛症について①

今回から腰痛についてお話ししていきます。腰痛は、全人口の2、3人に1人が一度は腰痛に悩むといわれています。一過性の場合が多いですが、中には急性腰痛(ぎっくり腰)を繰り返す人や、慢性の持続する腰痛に悩まされる人がいます。



このように腰痛を起しやすい人には、姿勢の異常や体幹・下肢の筋肉のバランス不良が多く見られやすいです。腰痛になりやすい人の特徴として①腰椎の前彎(腰のそり)が強くなっている。②腹筋や背筋の筋力低下がある。③背筋や下肢の筋肉の柔軟性が低下している。④腰を伸ばす筋の筋力が低下し、腰曲り傾向にある。等があげられます。【リハビリテーション科】

想い出のアルバム

あの日のあの時

54

吉川 泰子様 老健入所

昭和19年2月12日生 73歳

平成15年女流展

1冊の本との出会い

1988年高知自動車道が開通しそれを記念して「88嶺北高速博」が大豊町で開かれ、吉川さんを始め、本山町の方々もそのイベントに参加されました。その練習の打ち合わせを本山町の公民館でしたのですが、待ち時間があつたので、たまたま、吉川さんは大原富枝さんの「エルサレムの夜」という本を手に取り、読み始めました。読み始めると眼から鱗、その作品に引き込まれ1度に4冊ずつ借り、「ストマイつんぼ」「婉という女」「アブラハムの幕舎」など次々と読んでいきま



▲「ジェベルムーサ(天国の門)」

見渡せるすばらしいシナイ山。モーゼが神から十戒を授かった場所として有名です。山頂でご来光を拝みました。そのときの感動は忘れることはありません。



▲「悠久の時」(若一神社境内)

平成18年に本山町役場の職員に勧められ絵画を始めました。初めて描いた絵がシナイ山の「ジェベルムーサ(天国の門)」で、この作品は高知県の女流展で入選しました。

長い闘病の体験があり、負の人生を生きた女の生涯へのこだわりは一貫しており、また作品の中には同郷の寺家のことも出てきていました。

そして吉川さんは大原さんの心象風景を見たいと一念発起、平成7年1月イスラエルへと出発しました。スイス経由でエジプトへ行き、エジプト博物館でモーゼの「出エジプト」を勉強し、スエズ運河を通過、シナイ半島へ出ました。1月14日午前1時に起きて、気温5度の中、電池片手にシナイ山に登り始め午前3時半到着。ご来光は5時半頃でした。最初はグレー↓薄紫↓ピンク、オレンジ。360度

(聞き手 小笠原 理恵)

早明浦歌壇・俳壇

あたたかい
会話はずみて

外は雪

元旦や

良い事願い
手を合わす

芹摘みて

七草粥の
若きころ

大久保 幸子様

しんしんと

更けて障子の
雪明り

雪雲の

下に牛飼ふ
夫婦かな

積む雪や

ずしり重たき
万葉集

資子様



作：ゆずポンかけ太田

さ め う ら ギ ャ ラ リ ー



パッチワークキルト展 12月～



12月
「長野房子様書道展」



10月
「都築将子様
昔なつかしい風景」

職員紹介

吉田 隆一郎

医師

僕は土佐町で小中学校を過ごしました。大学では外科を専門にしています。



科、精神科疾患などもしたが、前任の病院では、内科や整形外科

診ていました。昨年、定年を機に故郷の土佐町に帰り、この早明浦病院で勤務することになりました。モットーは「患者さんを自分の家族のように診る」ことです。また、健康のためには「体を動かす」ことが大切だと考えており、それを自分で実践するため、マラソン、自転車、登山、トライアスロンなどを続けています。どうかよろしくお願いいたします。

橋詰 美智代

看護師

このたび9月から、



外来に配属されました。生まれも育ちも高知市ですが、30歳頃からスキーに

目覚め、シーズン中は2〜3回、岐阜、長野、新潟などでスキー三昧をしています。最近では超初心者ですが、山登りも始めました。1日でも早く仕事を覚えて、皆さまのお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

川久保 妙

看護師

大阪市立大学病院に



42年間勤務し、定年を迎え高知に帰ってきました。まだまだ看護師として働く

くことができると思い、自宅近くの病院で働いていました。今回私の思っている看護ができる病院を紹介され、こちらで働くことになりました。今までの経験を活かし、多職種との協働を行い、社会の医療の変化に目を向け、多様化する人々のニーズに対応し、地域に貢献できる人材の育成に努めたいと思います。私のモットーは「患者様に寄り添う看護師でありたい」。いつでも、どこでも声をかけてください。ご指導よろしく願います。

濱崎 健太郎

准看護師



みなさん、こんにちは。一度離職していた自分をもう一度あたたくく迎

え入れてくれた早明浦病院の皆様に感謝しつつ、一生懸命がんばりますので、よろしく願います。

次回冬号は4月発行予定です

